

# 健康だより

2013  
Vol.37  
APR.

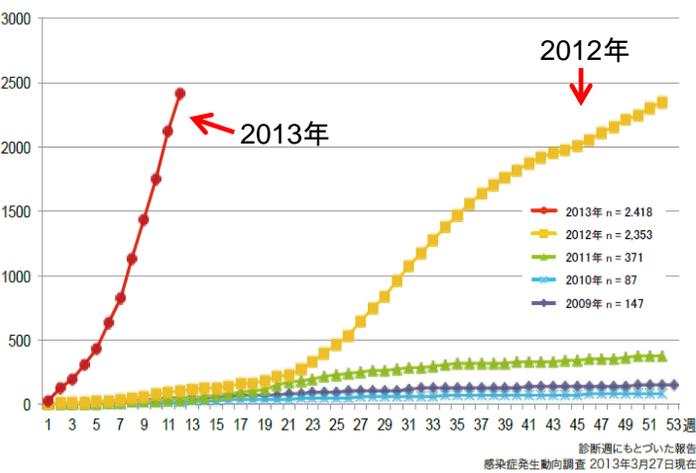


## 風疹 大流行中!!

～予防接種を受けましょう～

※風疹について、詳しくは国立感染症研究所のHPへ→  
<http://www.nih.go.jp/niid/ja/rubella-m-111/2132-rubella-top.html>

### ◆ 風疹累積報告数の推移2009-2013年



★先天性風疹症候群 (congenital rubella syndrome: CRS) とは免疫のない女性が妊娠初期に風疹に罹患すると、風疹ウイルスが胎児に感染して、出生児に先天性風疹症候群 (CRS) と総称される障がいを引き起こすことがある。CRS の3大症状は先天性心疾患、難聴、白内障である。それ以外には、網膜症、肝脾腫、血小板減少、糖尿病、発育遅滞、精神発達遅滞、小眼球など多岐にわたる。

**風** 疹(3日はしか)の報告数が急増しています。H24年は過去5年間では最も多い2,353例の報告がありましたが、H25年に入り、昨年を大幅に上回るペースで患者が急増しています。

**特** に、近畿地方や首都圏での報告が多く、患者の7割以上は**男性**で、うち**20代～40代**が8割を占めました。今年も、同様の傾向であり、特に首都圏での増加が顕著となっています。H23年度の国の調査では、20～40代の男性の15% (20代 8%、30代 19%、40代 17%) が風疹への抗体を持っていませんでした。

一方、20～40代の女性の4%が風疹への抗体を持っておらず、11%では感染予防には不十分である低い抗体価でした。

**抗** 体を持たない又は低い抗体価の妊娠中の女性が風疹にかかると、赤ちゃんに難聴や心疾患、白内障や緑内障などの障害 (**先天性風疹症候群**) が起こる可能性があります。昨年の流行の影響で、H24年10月からH25年1月末までに、6人の先天性風疹症候群の患者が報告されました。

**大** 人が風疹にかかると、発熱や発疹の期間が子供に比べて長く、関節痛がひどいことがよくみられます。一週間以上仕事を休まなければならない場合もあります。また、脳炎・血小板減少性紫斑病、溶血性貧血などの軽視できない合併症をまれにおこすことがあります。

## 風疹の予防接種で未来の赤ちゃんを守れます

昭和54年4月2日～平成7年4月1日生まれの男女は接種率が低く、特に昭和54年4月1日以前生まれの男性は子供のころに定期接種のチャンスがありませんでした

妊娠中は風疹の予防接種を受けることができません



女性は妊娠前に

風疹の予防接種を受けましょう

接種後2カ月は避妊が必要です。接種回数は子供の頃の接種を含め2回です。

成人男性は

風疹にかかったことがない方  
風疹ワクチンを受けていない方  
どちらも不明の方

風疹の予防接種を受けましょう

2回接種しても問題はありません。

まずはお近くの小児科にお問い合わせください



風疹の予防接種は、はしか(麻疹)も一緒に予防できる麻疹風疹混合(MR)ワクチンで受けることをお奨めします

Q. 「子供の時に風疹にかかったと親に言われていますが、この場合予防接種を受ける必要はありますか？」  
A. すでに風疹にかかったとの記憶のある人たちに血液検査を行ったところ、約半分は記憶違い、または風疹に似た他の病気にかかっていたという調査結果もあります。風疹にかかったことが血液検査(抗体検査)などで確認できていない場合は必ずしも信用できません。なるべく早く予防接種を受けることをお奨めします。

